

# かしわレポート



No.03 2007年12月16日発行

## ◆ 財政が厳しい中、あれもこれもはできません。 何を急ぎ、何を我慢すべきか。

これまでの議会では、議員は市長に対して、あれもやってくれ、これもやってくれ、というお願いをすることが多くありました。しかし、今はなんでもできる時代ではありません。

それぞれの議員も何を求め、何を我慢するのか全体の整合性を明らかにしていく必要があります。

### 新しい市営住宅は我慢

恵央団地の建て替えでは、これまでに入居していた方は4号棟までにほとんど入居することができ、5号棟以降は新たな入居者を対象とするものです。本当に住宅に困っている人がきちんと入居できる仕組みを整えるとともに、余裕のある方にはもう少し待っていただく必要があることを主張しました。

今の計画では1棟あたり約7億円というものをそのあとも4棟建設する予定です。



(市営住宅恵央団地)

### 地球温暖化はまったなし

一方、後世代に禍根を残す環境問題は先送りできません。恵庭全体として温暖化ガスを減らしていく取り組みが必要です。市役所ではこれまでもISO14001など環境負荷を減らす取り組みを行ってきましたが、市内全体の取り組みに広げるためには、企業への情報提供とともに、環境に取り組む企業を市役所の物品購

入、入札などにおいても優遇することで、さらに取り組みを加速させる必要があります。ISO以外に中小企業でも取り入れられる認証制度があり、これを市が推進していくことで、企業の環境意識を高めていくことが必要だと考えています。



(冬期の最終処分場)

### メタンガスの発生は100年続く

焼却場の使用停止にともない、すべてのごみは盤尻に埋立されるようになりました。生ごみなどの分解によって、ここから発生するメタンガスの量は、それ以前と比べて約1.5倍です。どんなにCO2を減らしても、メタンが減らなければ温室効果ガスの削減にはなりません。また、土中分解によるガス発生は100年にもわたると言われており、今埋めたごみが将来にも影響しつづけます。

将来的には生ごみの資源化を目指し、また今すぐにも生ごみを埋めない処理が必要です。

### かしわのを呼んでください

みなさんのご意見、ご質問をもっといただいきたいと思っています。メール・電話などご意見をお寄せいただく以外にも、呼んでいただければ、お話を伺いに参ります。

■ 柏野 大介  
〒061-1441  
北海道恵庭市  
住吉町2-2-14

Mobile: 090-2695-2880  
Email: dkashiwano@gmail.com  
Blog: かしわの大介 [検索]  
<http://kashiwano.blog95.fc2.com/>